

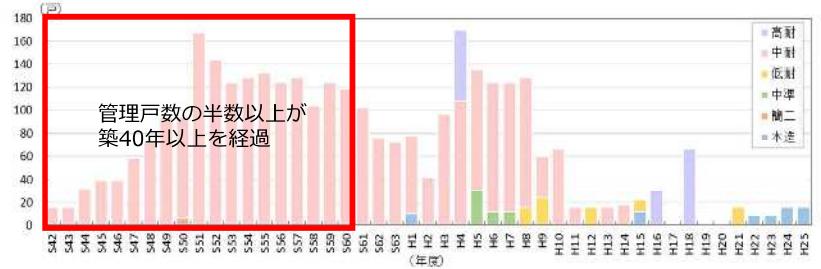
1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆ 県営住宅長寿命化等対策事業費

1. 事業概要

県では3,275戸（76団地、198棟）の県営住宅を管理していますが、この半数以上が建設後40年を経過し、老朽化が進んでいる状況にあります。

本事業は、県営住宅の適正な管理のため、県営住宅長寿命化計画に基づき、外壁・屋根や設備の改修など、予防保全型維持管理を行い、県営住宅施設の長寿命化及びライフサイクルコストの縮減に繋げるとともに、事業費の平準化を図る事業です。



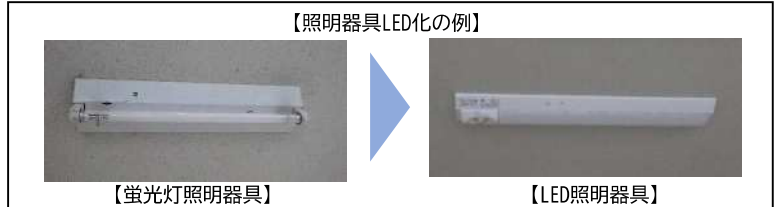
2. 令和8年度実施内容

(1) 外壁・屋根改修工事

老朽化した外壁・屋根を改修する。

(2) 共用部照明器具LED化工事

共用部の照明器具をLED照明器具に改修する。



◆ 事例紹介：躯体の長寿命化、安全性確保のための工事

外壁改修工事 県営南山形アパート4号棟 外壁改修+バルコニー防水+手すり改修



1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆流域下水道事業【公営企業会計】

(うち全国特別重点調査を受けた下水道管路改築関係)

1. 事業概要

埼玉県八潮市の下水道管路の破損に起因する道路陥没事故を受け、国土交通省より管径2m以上かつ30年以上経過した下水道管路を対象とした全国特別重点調査の実施が要請されました。

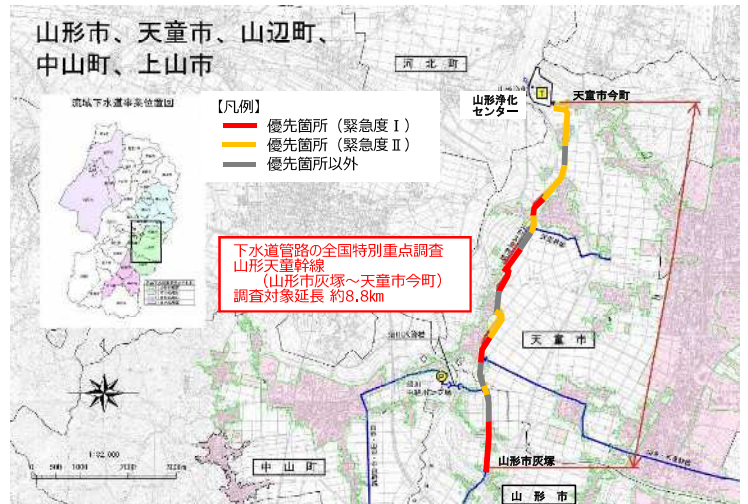
調査の結果を受け、緊急度が高いと判定された箇所について、速やかに対策を実施していきます。

2. 令和8年度実施内容

- 全国特別重点調査対象管路（山形処理区・山形天童幹線）のうち、緊急度Ⅰ※と判定された管路の詳細設計及び修繕・改築工事の実施 ※原則1年以内の速やかな対応が必要



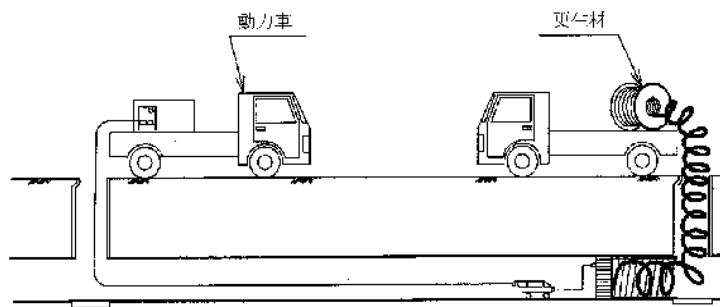
緊急度Ⅰ：劣化ランクA
(浸入水A、石灰乳付着)



◆事例紹介

管路改築工事事例（製管工法）

破損や腐食した既設管の内面に新たに管を構築することにより、耐荷性能、耐久性能を確保



施工前



施工後



施工状況

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆道路保全事業費（うち路面下空洞調査）

1. 事業概要

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で下水道管路の破損に起因すると考えられる大規模な道路陥没が発生した。

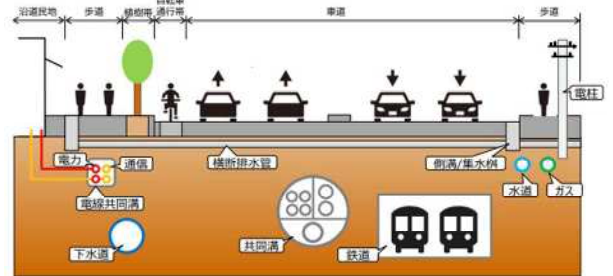
この事故を受け、山形県内の各道路管理者及び地下占用物件の占有者において、定期的に相互の点検・調査の計画・結果について共有するほか、道路陥没を防ぐ取組みなどを連携して実施することにより、占用物件に起因する道路の構造や交通への支障等に適切に対応することを目的に、「山形県地下占用物連絡会議」が設立された。

県としても道路管理者の立場から、路面下の状況等を把握するため、路面下空洞調査を実施する。

2. 令和8年度実施内容

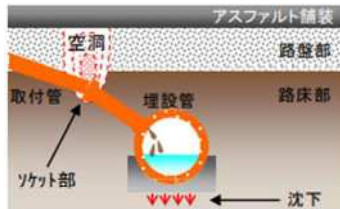
山形県が管理する道路について、市街地等を中心に、路面下の空洞調査を実施する。

路面下空間イメージ

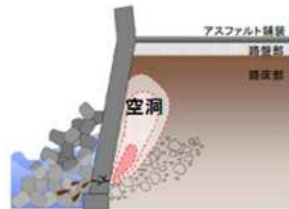


出典：国土交通省HPより

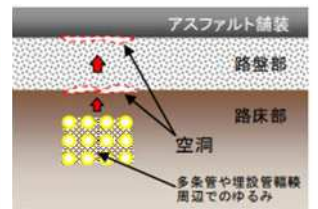
埋設物の破損による空洞の例



構造物の破損による空洞の例



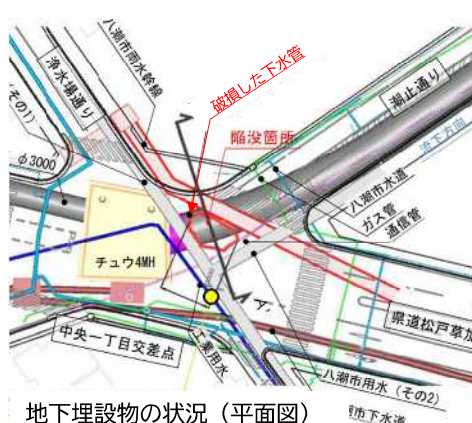
埋戻し不足による空洞の例



出典：国土交通省HPより

◆路面下空洞調査実施の背景・調査の方法

(1) 埼玉県八潮市で発生した事故の状況



地下埋設物の状況（平面図）

出典：国土交通省HPより

(2) 調査の方法

地中レーダを搭載した路面下空洞探査車を用いて路面の下に潜む空洞を非破壊で調査し、道路陥没事故を未然に防止を図る。



路面下空洞探査車

路面下空洞探査車

出典：国土交通省HPより

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

- ◆ 酒田港整備事業費（うち基地港湾整備関係）
- ◆ 国直轄港湾事業費負担金
- ◆ 酒田港施設整備費【特別会計】（うち基地港湾整備関係）

1. 事業概要

酒田港では、海洋再生可能エネルギー（洋上風力）発電の導入促進を図るため、洋上風力発電に必要な発電設備の建設や維持管理の拠点となる基地港湾の指定（令和6年4月）を受け、整備事業に着手しました。

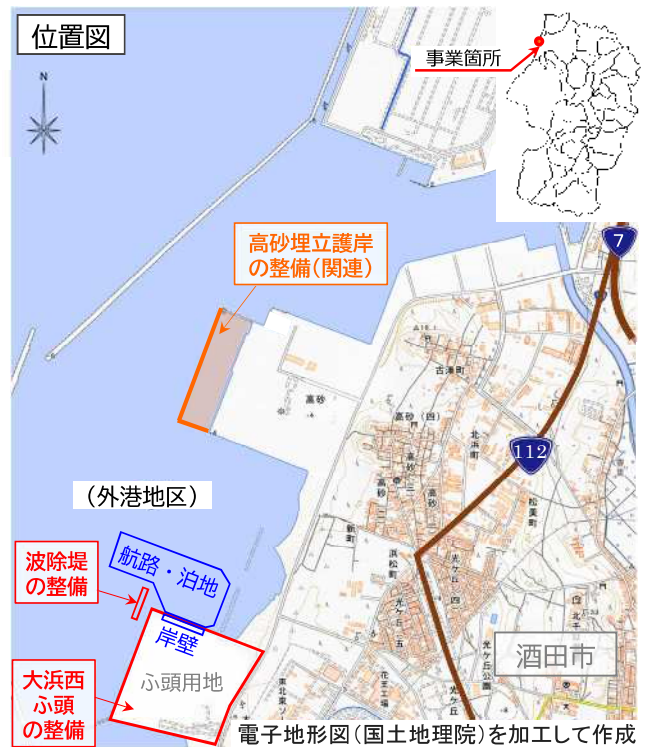
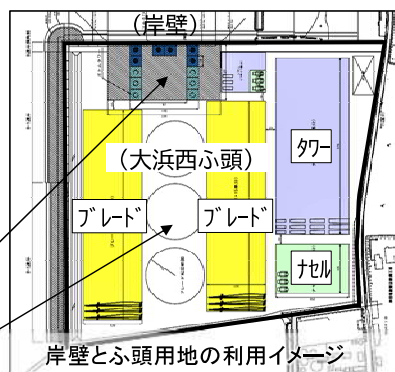
- 大浜西心頭の整備
- 波除堤の整備
- 岸壁及び航路・泊地の整備[国直轄事業(負担金)]
- 高砂埋立護岸の整備(関連事業)

2. 令和8年度実施内容

- ・ 大浜西心頭の整備工事
- ・ 波除堤の整備工事
- ・ 高砂埋立護岸の整備工事

事前組立・資機材搬出入エリア

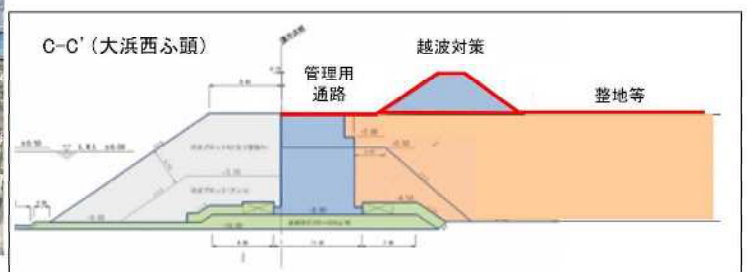
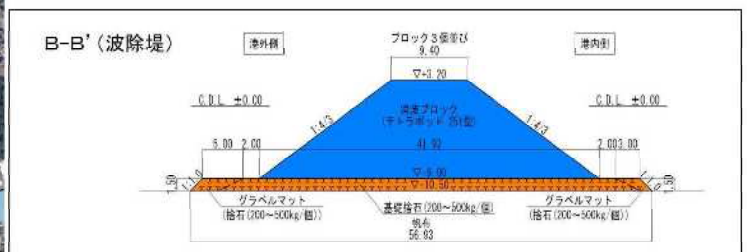
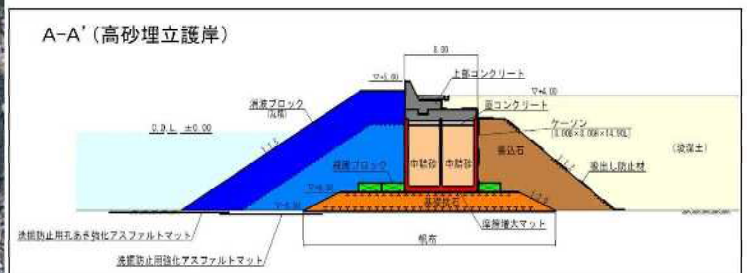
洋上風力発電部材保管エリア



◆洋上風力発電関連整備（大浜西心頭、波除堤、高砂埋立護岸）のイメージ



標準断面図



1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆道路保全事業費

1. 事業概要

安全で快適な道路環境を維持するため、舗装、側溝及び道路附属物（標識、照明灯等）の整備・修繕を行ったり、道路メンテナンスサイクルを確立するための道路土工構造物（長大切土、高盛土等）点検を実施し、必要な補修箇所の対応を検討するなど、道路を適切な状況に保全するための事業です。

2. 令和8年度実施内容

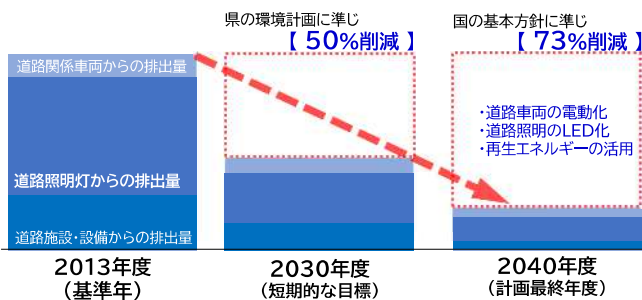
- ・舗装、側溝、道路附属物の修繕・更新工事
- ・道路照明灯のLED化
- ・道路土工構造物の点検 ほか



道路におけるカーボンニュートラルに向けた取組み

- ・令和2年8月に2050年まで温室効果ガス実質排出ゼロを目指す『ゼロカーボンやまがた2050』を宣言しました。
- ・令和7年10月に施行された改正道路法において道路の脱炭素化の推進が位置付けられ、さらには同法に基づき国土交通大臣が定める『道路脱炭素化基本方針』が示され、脱炭素化の取組を進めるための枠組みが導入されました。
- ・山形県では、新たに策定した『道路脱炭素化推進計画』に基づく取組みにより、地球環境の保全に配慮しながら、安全・安心で快適に利用できる道路環境の整備を推進します。

道路管理分野における取組によるCO2排出量の削減イメージ



(更新前)



(更新後)



1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

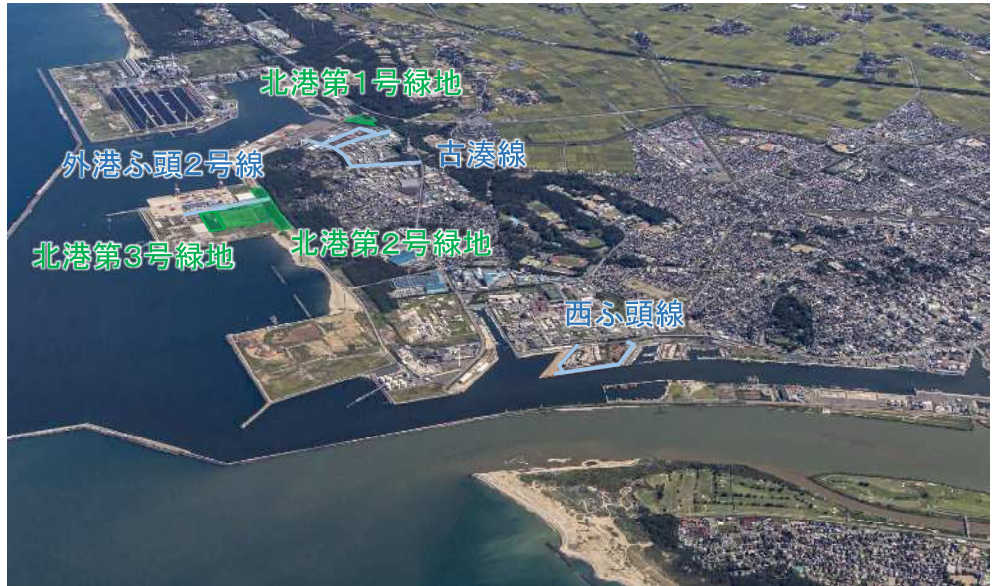
◆港湾施設管理運営費

1. 事業概要

臨港道路や緑地に設置されている既存照明灯のほとんどが水銀灯であるため、「酒田港港湾脱炭素化推進計画（R6年3月）」に則り、水銀灯よりも消費電力が低く長寿命であるLED照明に更新し、温室効果ガスの削減とライフサイクルコストの低減を図ります。

2. 令和8年度実施内容

- ・西心頭線
- ・北港第1号緑地
- ・北港第2号緑地
- ・北港第3号緑地
- ・外港ふ頭2号線
- ・古湊線



◆臨港道路の照明灯更新



照明灯更新前



照明灯更新後

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆流域下水道事業【公営企業会計】（うち汚泥再生利用関係）

1. 事業概要

【堆肥化】

本県の流域下水道の汚泥処理については、全て県内の民間処理業者へ委託し、高い割合で有効利用を図っています。

令和6年度の実績は、処理量の93.4%が再生利用され、56.0%をコンポスト化（堆肥化）しています。

【消化ガス発電】

山形浄化センターでは、下水汚泥を消化タンクで加温し、消化（メタン発酵）させることで、汚泥の減容化を行っています。その消化過程で副次的に発生する消化ガスを発電に利用し、電力の自給化を図っています。

◎令和6年度電力自給率 約31%

2. 令和8年度実施内容

【堆肥化】

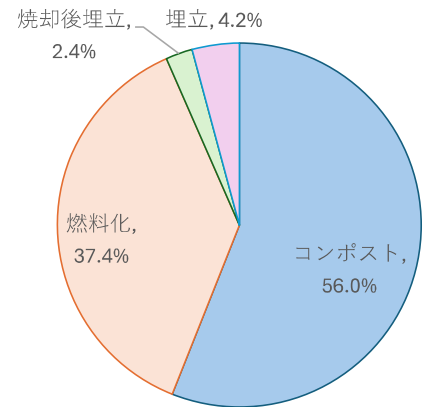
今後も、肥料需要の状況把握・流通経路の確保等について、農政部局と連携し、山形県汚泥リサイクル協議会との意見交換等で民間処理業者の動向を注視しながら最大限の有効利用に努めます。

【消化ガス発電】

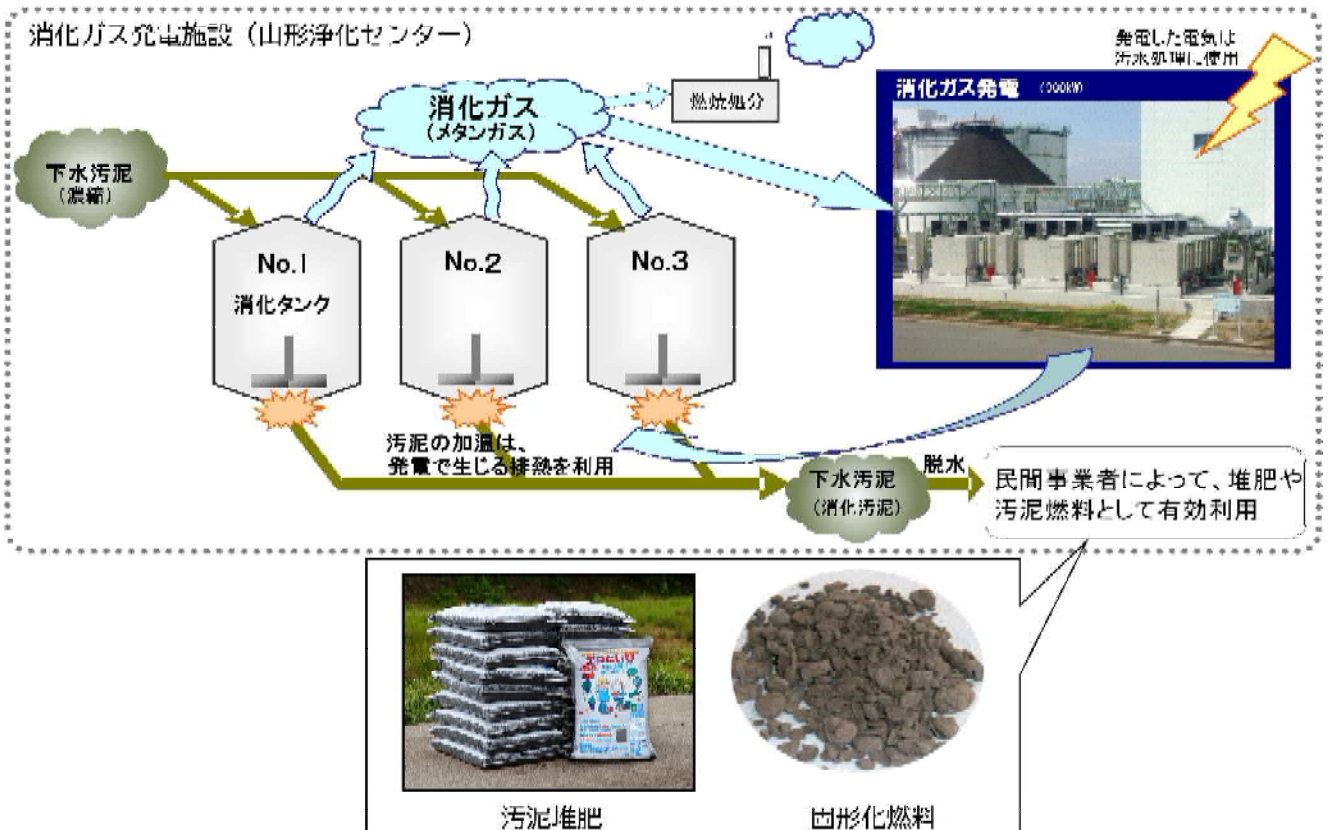
引き続き効率的な運転に努め、低炭素・循環型社会の構築に向けて貢献していきます。

◎令和6年度 下水汚泥処理状況 単位:t

		処理数量	比率
有効利用	コンポスト	12,617	56.0%
	燃料化	8,426	37.4%
	計	21,043	93.4%
最終処分	焼却後埋立	535	2.4%
	埋立	945	4.2%
	計	1,480	6.6%
合計		22,523	100.0%



◆事例紹介

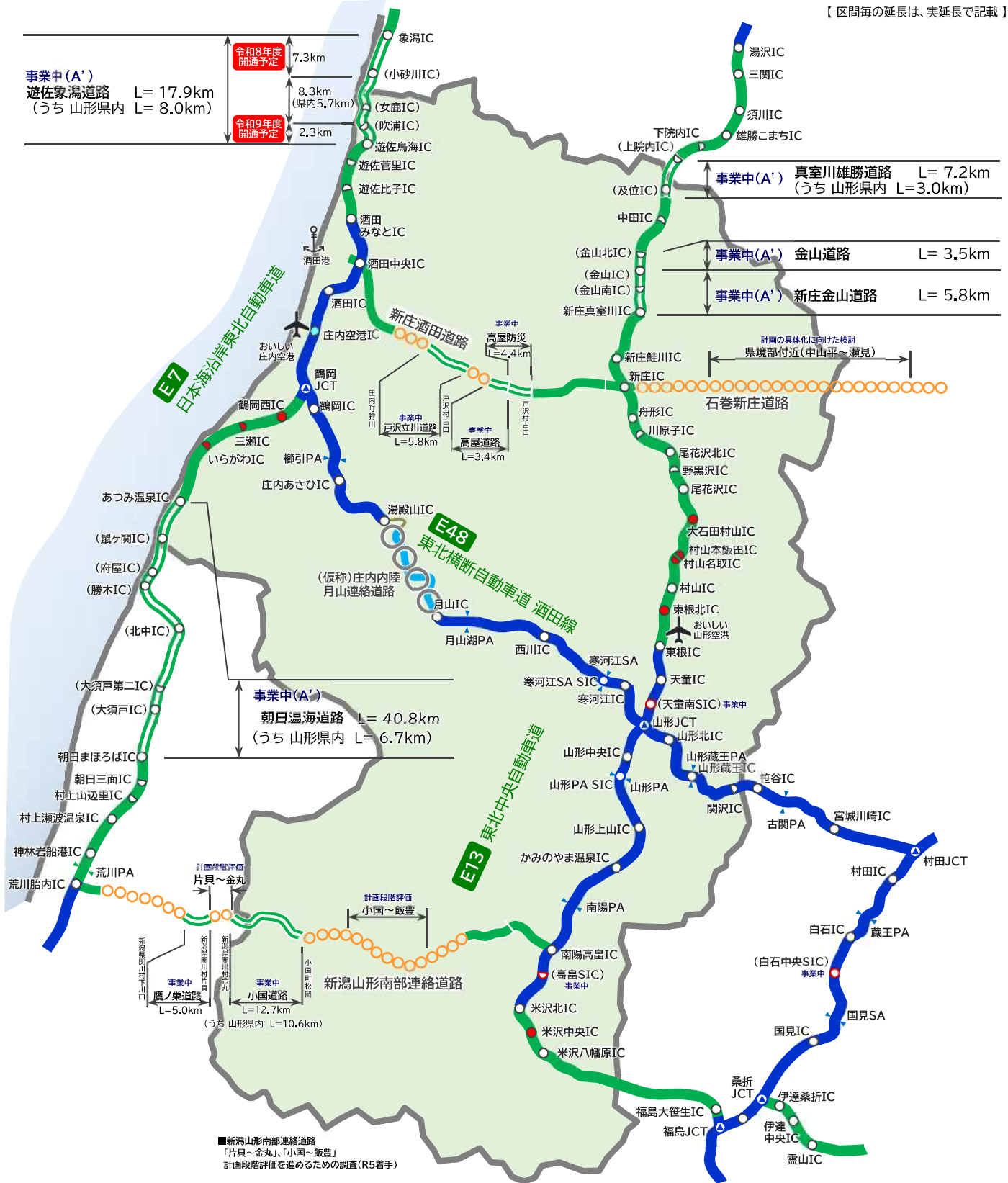


2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

山形県の高規格道路の整備状況

令和7年12月31日現在

【区間毎の延長は、実延長で記載】



- ()書きIC・JCTは仮称
- 地域活性化IC
- 開発IC

凡例	
高規格道路	
供用区間(有料)	■
供用区間(無料)	■
事業中区間(無料)	■
調査中区間	○
構想路線	○

高速道路整備の進捗状況	全国 ※1		東北6県 ※2		山形県	
	延長(km)	供用率	延長(km)	供用率	延長(km)	供用率
予定路線延長	11,520		1,882		340	
供用延長	10,329	90%	1,777	94%	292	86%

※1 旬刊高速道路(発行:全国高速道路建設協議会)令和7年12月25日No.1991号による
 ※2 全国高速道路建設協議会調査より 山形県独自集計

2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

◆道路改築事業費

1. 事業概要

県土の基盤となる広域道路・地域内道路ネットワークを整備することで、産業や観光の振興に不可欠なヒト・モノの交流を支えるとともに、大規模災害時にも有効に機能するダブルネットワーク化を推進します。

2. 令和8年度実施内容

(1) 広域道路ネットワークを生かすインターチェンジ（IC）や拠点へのアクセス道路の整備

- ・高速道路・高規格道路のICに接続するアクセス道路の整備を推進します。
- ・重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備を推進します。

(2) 生活圏間、都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備

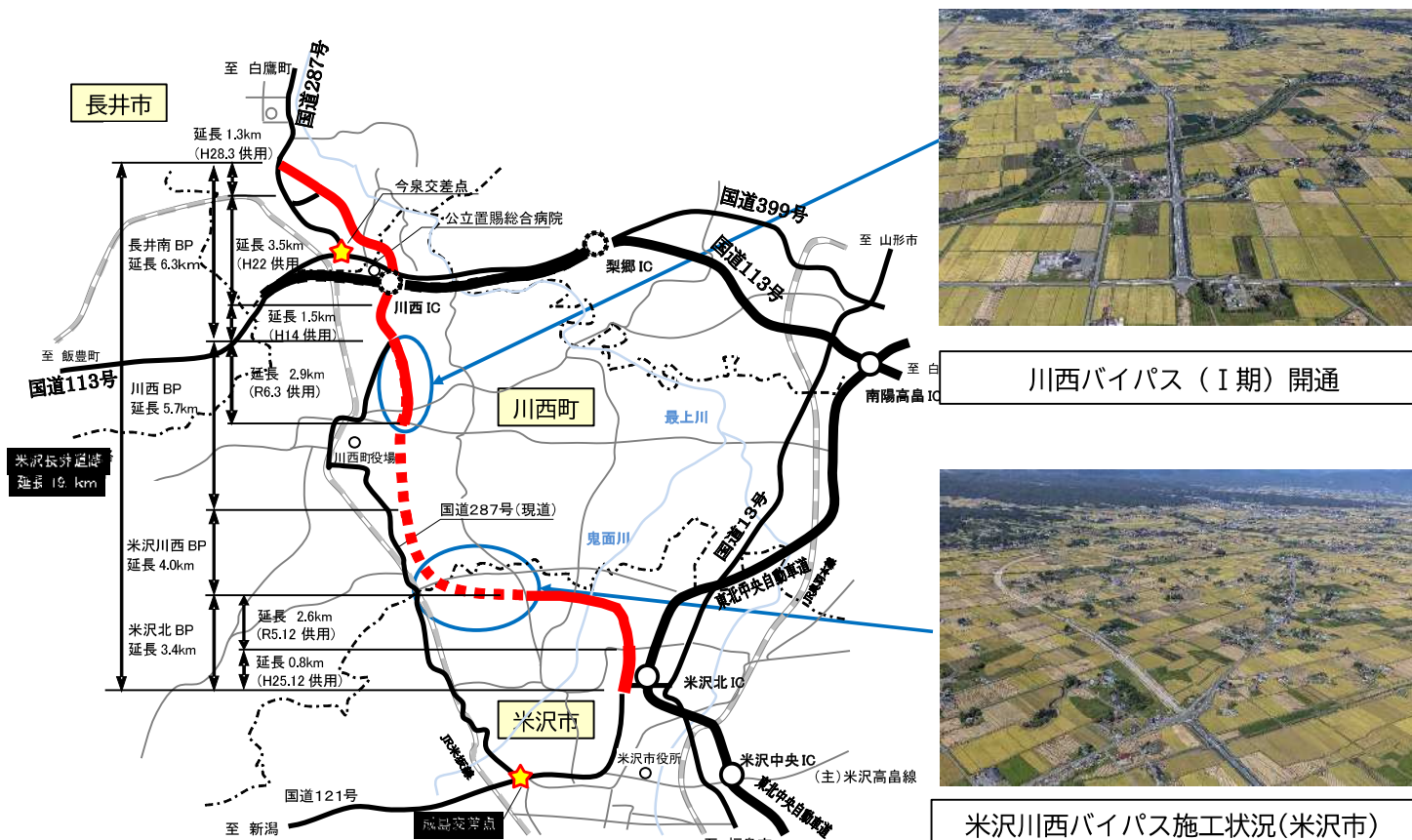
- ・一般国道や主要な県道において、道路の改築、拡幅やバイパスの整備を推進します。
- ・地域の実情に応じた効率的な整備を推進します。

(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)



(国) 344号 (安田バイパス工区)
(R7.10.4供用開始)

◆事例紹介：国道287号 米沢長井道路



2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

◆酒田港整備事業費（うち外航クルーズ船受入関係）

1. 事業概要

酒田市街地へ徒歩で移動が可能な本港地区において、小型外航クルーズ船が入港可能となるよう施設整備を実施します。また、従来から外航クルーズ船の寄港で利用されている北港地区において、寄港時の保安確保のため、保安員配置及びフェンス等設置を行います。

2. 令和8年度実施内容

- ・クルーズ船が係留する岸壁の附帯施設（係船柱、防舷材）等の整備
- ・外航クルーズ船受入れのための保安対策の実施

本港地区の施設整備



外航クルーズ船寄港時の保安対策



◆酒田港への外航クルーズ船の寄港



ダイヤモンド・プリンセス
11万トン級（乗客定員：2,706人）



MSCベリッシマ 17万トン級
（酒田港における過去最大船）



外航クルーズ船寄港時の様子



寄港地観光に向かうクルーズ乗船客



ふ頭内の臨時観光案内所



クルーズ乗船客で賑わう酒田市内

2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

◆酒田港物流拠点化推進事業費

1. 事業概要

県産品・県産農産物の輸出拡大及び本県のものづくり産業の振興を支える重要な物流基盤である酒田港を、日本海側の主要な物流拠点として発展させるため、酒田港の利用促進対策を行います。

2. 令和8年度実施内容

(1) 酒田港コンテナ貨物利用促進助成事業（荷主等向け助成）

- ・酒田港までの距離に応じた陸送費の助成
- ・酒田港を新規利用、利用拡大した荷主に対する助成
- ・令和6年に開設された内航航路利用荷主に対する助成
- ・小口混載貨物サービス利用荷主及びサービス提供者に対する助成
- ・バラ積み貨物からコンテナ貨物に転換した荷主に対する助成

(2) 物流対策推進事業（船社等向け助成）

- ・新規に定期航路を開設・増便 または 酒田港に有利な航路に改良する船社に対する助成
- ・船社、海貨業者、荷主3者での共同事業者による貨物量増加に向けた取組に対する助成

(3) 酒田港ポートセールス事業

- ・県内外の企業等へのポートセールス活動
- ・酒田港広報活動

◆酒田港国際ターミナルの状況



酒田国際ターミナル全景



コンテナ荷役作業状況